



まちの出来事を紹介します

# ワイン広場



2026

TOPICS MARCH

## 池田高生徒が中学生にカナダの体験報告

池田町の国際姉妹都市カナダ・ペンティクトンを訪問した池田高校の生徒3人が2月17日、池田中学校で現地での体験を報告しました。

同校は国際交流を目的に、カナダの姉妹校を訪問する短期派遣事業を、町の子ども夢基金を活用して毎年実施。今回は1月4～11日の日程で、ペンティクトン市の中等教育学校と小学校を訪問し、交流を深めました。

中学校での報告会は、池田高校の活動を中学生に知ってもらい、身近に感じてもらうと昨年から実施。この日、日本の夏祭りをテーマに交流した様子や料理の違いなどを写真で紹介しました。また、肌で感じた体験談を掛け合いやクイズを交えながら楽しく伝え、中学生たちは、身近な先輩が語る海外体験に興味深く聞き入っていました。

報告を終えた小澤尚さん(池田高2年)は「異文化に触れて成長できた。池田高校に進学して、カナダ交流に挑戦してほしい」と話していました。

北海道池田高等学校吹奏楽部 第56回定期演奏会 (2月23日)



昨年12月の大雪で延期となっていた池田高校吹奏楽部(美濃沙来部長、部員3人)第56代バンドの定期演奏会が、田園ホールで開かれました。

この日、池田中学校吹奏楽部、足寄高校吹奏楽局、本別高校吹奏楽部、幕別清陵高校吹奏楽部、OB・OGなども加わり、3部構成で多彩な演目を披露。おなじみのダンプレステージでは、ドリカムの「大阪LOVER」、ももいろクローバーZの「行くぜっ!怪盗少女」など、アンコールを含む13曲で会場を盛り上げ、町内外から来場した観客約240人が演奏を楽しみました。



池田高校 卒業証書授与式 (3月10)



# 池田町地域おこし協力隊 活動報告

## 十勝へのUターンと 情報発信の強化

令和6年8月、「大好きな十勝にUターンしたい」という思いで、協力隊に着任しました。

高校魅力化推進員として池田高校に関わる中で、私がまず力を入れたのは「学校のイマ」を外に届けることです。ホームページの更新は180件を超え、「広報いけだ」でも特集を掲載しました。

また、アクセス解析の導入や校内イントラネット(学校内専用ネットワーク)の整備など、ITスキルを生かした業務効率化にも取り組み、先生方がより教育に集中できる環境を少しでも整えたいと考えながら活動してきました。

令和8年3月で  
協力隊を卒業!!

高校魅力化推進員  
のたけあみ  
**野武 亜美**

【活動：池田高校の魅力化の推進など】



## 経験を生かした「学びの伴走」

活動の核となったのは、生徒一人一人と向き合う「学びの伴走」です。高校生活3年間の集大成となる「課題研究」では、生徒の自立を促すサポートを心掛けました。正解を教えるのではなく、気づきをシェアし、生徒たちが自ら答えを導き出すまで一歩引いて見守る。正解のない時代を生きる生徒たちの主体的な学びを、一番近くで応援できたと感じています。

また、進路面談の練習にも力を注ぎました。私自身、過去に100回以上の面談を経験してきたからこそ伝えられる、相手に届く表現や心構えを一人一人に合わせて伝えてきました。35回以上にわたる練習を通じ、本人も気付いていない「強み」や「成長」を、時間を共にしてきたからこそ引き出せたことは、私にとっても大きな喜びでした。

帯広畜産大学への個別訪問サポートでは、「なぜ大学へ行くのか」という根本的な問いに生徒と一緒に向き合いました。私自身の経験や社会での認識を共有する中で、単なるアドバイザーとしてではなく、一人の大人として真剣に向き合うことの大切さに、私自身が改めて気付かされました。

池田高校に関わることで、「生徒と一緒に学び続けることが大人の役割である」と、私の中の教育観もアップデートされたと感じています。学ぶことや変わることの喜びを、生徒たちからたくさん教えてもらいました。



## 感謝を胸に、これからも十勝の地で

いつも温かく迎えてくださった池田高校の皆さん、地域の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。短い期間ではありましたが、池田町で過ごした時間は私の大切な財産です。

卒業後も十勝に定住し、これまでの経験を生かして地域に貢献していく予定です。池田高校との関わりも、形を変えて続けていきたいと考えています。1年8カ月間、本当にありがとうございました！

